

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

WEST**End of Result Set**

L4: Entry 1 of 1

File: JPAB

Jul 20, 1993

PUB-NO: JP405176656A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05176656 A
TITLE: RODLIKE REINFORCING ELASTIC BODY

PUBN-DATE: July 20, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MORITA, TETSUO

SAKURAOKA, MAKOTO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SUMITOMO RUBBER IND LTD

N/A

APPL-NO: JP03345422
APPL-DATE: December 26, 1991

INT-CL (IPC): A01K 63/00; B29C 67/14; E02B 3/06; E04C 3/36; E04H 12/02; E04H 12/32

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the subject elastic body, having a high, flexural rigidity, excellent in corrosion, weather and water resistance and useful as a crawl frame, a pier, etc., by embedding plural core materials composed of fiber-reinforced plastic rods in a bonded state in the axial direction in a rodlike rubber.

CONSTITUTION: The objective elastic body is obtained by embedding plural core materials composed of fiber-reinforced plastic (FRP) rods 2 in a mutually bonded state in the axial direction in a rubber rod 1 which is a base material.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-176656

(43)公開日 平成5年(1993)7月20日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 01 K 63/00	D	8602-2B		
B 29 C 67/14	G	7188-4F		
E 02 B 3/06		7150-2D		
E 04 C 3/36		8504-2E		
E 04 H 12/02		9128-2E		

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁) 最終頁に続く

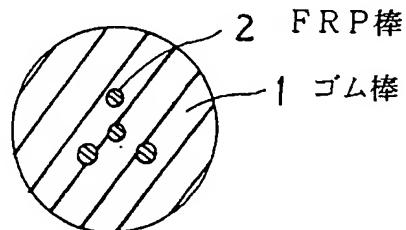
(21)出願番号	特願平3-345422	(71)出願人 000183233 住友ゴム工業株式会社 兵庫県神戸市中央区筒井町1丁目1番1号
(22)出願日	平成3年(1991)12月26日	(72)発明者 森田 優男 大阪市阿倍野区松崎町4-11-3 (72)発明者 桜岡 誠 兵庫県神戸市垂水区南多聞台4丁目9番5号 (74)代理人 弁理士 渡邊 隆文 (外2名)

(54)【発明の名称】 棒状補強弾性体

(57)【要約】

【目的】 径の大きいFRP棒と同等の曲げ剛性を得、しかも径の大きいFRP棒よりも曲げに対する許容変形度も大きくなる棒状補強弾性体を提供する。

【構成】 母材であるゴム棒1中に、複数のFRP棒2からなる芯材を、軸方向に沿って互いに接着させた状態で埋設する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】母材である棒状のゴム中に、複数の棒状の繊維強化プラスチックからなる芯材を、軸方向に沿って互いに接着した状態で埋設したことを特徴とする棒状補強弹性体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、曲げ変形に対しての剛性が大きく、かつ曲げの許容限度が大きいことが要求されるイクス棒、桟橋、旗や錦のぼり用のポール等に使用される棒状補強弹性体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、イクス棒、桟橋、旗や錦のぼり用のポール等には、曲げ変形に対しての剛性が大きく、かつ破壊作用に対して変形で対応できるよう曲げの許容限度が大きいことが要求されるため、竹、木材、プラスチック、繊維強化プラスチック（以下、FRP (Fiber Reinforced Plastics) という）等が使用されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記既存の部材の問題点を以下に示す。

(1) 竹および木材

竹や木材は、産地により材質が異なったり、あるいは産地が同じであっても個々に材質が微妙に異なるため、同じ材質のものを揃えるのが困難となっていた。また、10m以上の長さの竹や木材は少ないため、長さに制限を受ける。特に、竹の場合、根元と先端で太さが違うため、使用範囲が限定されていると共に、節があるので、全体としての剛性が高まるものの、節の箇所と箇所との剛性が異なり、一様でない。そのため、1か所に傷ができると、傷が軸方向に成長し割れてしまう。さらに、竹や木材は、水中あるいは土中等で長期に使用すると、腐食する。

(2) プラスチック、FRP

プラスチック、FRPでは、曲げ剛性を大きくするには、高価な補強繊維を用いなければならない。あるいは、断面2次モーメントを大きくするためには、太い径のものを用いなければならない。太い径のものを用いると、曲げ剛性は大きくなるが、曲げ許容限度が小さくなるばかりか、価格も高くなる。プラスチック、FRPには、パイプ形状のものもあるが、パイプ形状のものは曲げ変形時の座屈の問題がある。さらに、耐候性に問題を生じる場合もある。

【0004】また、プラスチック、FRPについては、複数の棒状のプラスチック、FRPを接着によって一体化して複合化すると、その本数以上の曲げ剛性が得られることが知られている。例えば、3本のプラスチック、FRPを一体化せず、単に束ねただけでは、その曲げ剛性が単に断面2次モーメントが3倍になるだけで、3倍

変形しにくくなる。つまり、3倍強く、かつ3倍の曲げ剛性となるだけで、ある程度の変形を必要とするイクス棒、桟橋、旗や錦のぼり用のポール等に使用するメリットはない。これに対し、上述のように、3本のプラスチック、FRPに母材（マトリクス）を介在させて、3本のプラスチック、FRPを接着により一体化して1本として変形するようにすると、その断面2次モーメントは1本のプラスチック、FRPの場合の断面2次モーメントの1.1倍となり、単に3本束ねただけのときと比べて、曲げ剛性で $1.1 \div 3 = 3.67$ 倍の複合化、一体化の効果が得られる。

【0005】しかし、上記の例では、断面積の大きな、すなわち太い径のプラスチック、FRPを1本用いる場合と比べると、その曲げ許容限度は著しく小さくなってしまう。また、この例では、プラスチック、FRPとマトリクスとの接着強さと、マトリクスの同等か、あるいはそれ以上の破壊強さが必要である。本発明は、上記に鑑み、断面2次モーメントの大きい、すなわち径の大きいFRP棒と同等の曲げ剛性を得、しかも径の大きいFRP棒よりも曲げに対する許容限度も大きくなる棒状補強弹性体の提供を目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明による課題解決手段は、母材である棒状のゴム中に、複数の棒状の繊維強化プラスチックからなる芯材を、軸方向に沿って互いに接着した状態で埋設したものである。

【0007】

【作用】上記課題解決手段において、母材である棒状のゴム中に、棒状の繊維強化プラスチックからなる芯材を、軸方向に沿って互いに接着した状態で埋設しているから、曲げ剛性が強くなるといったゴム棒と繊維強化プラスチック棒との複合化の効果が得られる。また、ゴム棒と繊維強化プラスチック棒との複合化のメリットに加えて、断面2次モーメントの大きい、すなわち径の大きい繊維強化プラスチック棒と同等の曲げ剛性を得、しかも径の大きい繊維強化プラスチック棒よりも曲げに対する許容限度も大きくなる。

【0008】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1に基づいて説明する。図1は本発明の一実施例に係る棒状補強弹性体の断面図である。本実施例の棒状補強弹性体は、母材（マトリクス）であるゴム棒1中に、接着処理を施した4本の繊維強化プラスチック（以下、FRP (Fiber Reinforced Plastics) という）棒2からなる芯材（コア）を、軸方向に沿って互いに接着した状態で埋設して、ゴム棒1とFRP棒2とを一体化したものである。

【0009】上記ゴム棒1は、破壊に対して変形で対応できるよう許容変形量が大きく、またFRP棒2との接着強さが大きいものが使用されており、その径は約30mm、曲げ剛性は 27000 kg mm^2 である。上記FRP

F R P 棒 2 は、例えば不飽和ポリエスチル／ガラス繊維の引き抜き成形品であり、その径は $\phi 3\text{ mm}$ 、曲げ剛性は 17000 kg mm^2 である。

【0010】そして、本出願人は、上記実施例と、F R P 棒 4 本をゴムと非接着の状態で挿入した場合（以下、比較例という）との曲げ剛性を比較検討した。この結果、比較例の曲げ剛性は 95000 kg mm^2 となり、単に F R P 棒 4 本分の曲げ剛性 ($17000\text{ kg mm}^2 \times 4$) とゴム分の曲げ剛性 (27000 kg mm^2) を加算した値となるにすぎず、何ら力学的メリットはないことが判明した。これに対し、実施例の曲げ剛性は $413000\text{ kg mm}^2 / 95000\text{ kg mm}^2$ ）であり、複合化の効果が現れることが判明した。

【0011】次に、実施例の曲げ剛性と、断面 2 次モーメントの大きい、すなわち $\phi 7\text{ mm}$ と径の大きい F R P 棒 1 本の曲げ剛性との比較を行った。この結果、 $\phi 7\text{ mm}$ の F R P 棒 1 本の曲げ剛性は 385000 kg mm^2 であり、実施例の構成にすれば、 $\phi 7\text{ mm}$ の F R P 棒の曲げ剛性と同等以上の曲げ剛性を得ることができることも明らかとなった。

【0012】さらに、ここで上記実施例と $\phi 7\text{ mm}$ の F R P 棒 1 本との曲げ破壊が生じる最小曲げ半径を考察すると、 $\phi 7\text{ mm}$ の F R P 棒の最小曲げ半径 $r = 204\text{ mm}$ に対し、実施例で使用されたた $\phi 3\text{ mm}$ の F R P 棒の最小曲げ半径 $r = 77\text{ mm}$ であり、 $\phi 3\text{ mm}$ の F R P 棒を 4 本をゴムを母材として一体化した実施例は、少なくとも曲げ半径 $r = 204\text{ mm}$ になっても破壊（折れない）と推察される。つまり、実施例は、 $\phi 7\text{ mm}$ の F R P 棒よりも曲げに対する許容限度が大きくなる。

【0013】すなわち、本実施例の棒状補強弾性体は、マトリクスであるゴム棒 1 中に、コアである接着処理を施した F R P 棒 2 を、軸方向に沿って互いに接着した状態で埋設しているから、単に F R P 棒を 4 本束ねただけの場合と比べて曲げ剛性が強くなるといったゴム棒 1 と F R P 棒 2 の複合化の効果が得られる。また、この複合化のメリットに加えて、断面 2 次モーメントの大きい、すなわち径の大きい F R P 棒と同等の曲げ剛性を得、しかも径の大きい F R P 棒よりも曲げに対する許容限度も大きくすることができる。よって、この棒状補強弾性体は、曲げ変形に対しての剛性が大きく、かつ曲げの許容限度が大きいことが要求されるイケス桟、桟橋、旗や鯉のぼり用のポール等の使用に最適となる。

【0014】なお、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、本発明の範囲で上記実施例に多くの修正および変更を加え得ることは勿論である。例えば、上記実

施例では 4 本の F R P 棒を使用した例について記載したが、棒状補強弾性体として等方性が必要な場合には、図 2 (a) (b) のように、例えば 3 本あるいは 7 本の F R P 棒を断面方向に対して対称の位置に配置すればよい。また、棒状補強弾性体として異方性が要求される場合には、2 本の F R P 棒を使用するなら、図 3 (a)において 2 本の F R P 棒を縦方向に並べるか横方向にならべるかで剛性が異なり、あるいは図 3 (b) のように、3 本の F R P 棒を一列に並べた形で配置すれば、より顕著にその効果が現れる。このように、F R P 棒の本数、配列を変えるだけで、要求される曲げ剛性、曲げの許容限度に応じた自由な設計が可能となり、また長さ、太さも自由に設計できる。

【0015】また、使用するゴムの材料選択、またゴム部分を補強繊維で補強すれば、耐腐食性、耐候性、耐水性等の耐久性能に優れたものも設計できる。

【0016】

【発明の効果】以上の説明から明らかな通り、本発明の棒状補強弾性体によると、曲げ剛性が強くなるといった

20 ゴム棒と繊維強化プラスチック棒との複合化の効果が得られる。また、ゴム棒と繊維強化プラスチック棒との複合化のメリットに加えて、断面 2 次モーメントの大きい、すなわち径の大きい繊維強化プラスチック棒と同等の曲げ剛性を得、しかも径の大きい繊維強化プラスチック棒よりも曲げに対する許容限度も大きくすることができる。よって、曲げ変形に対しての剛性が大きく、かつ曲げの許容限度が大きいことが要求されるイケス桟、桟橋、旗や鯉のぼり用のポール等の使用に最適となるといった優れた効果がある。

30 【0017】また、繊維強化プラスチック棒の本数、配列を変えるだけで、要求される曲げ剛性、曲げの許容変形度に応じた自由な設計が可能となり、また長さ、太さも自由に設計でき、使用するゴムの材料選択、またゴム部分を補強繊維で補強すれば、耐腐食性、耐候性、耐水性等の耐久性能に優れたものも設計できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施例に係る棒状補強弾性体の断面図である。

【図 2】他の実施例に係る棒状補強弾性体の断面図である。

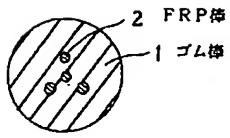
【図 3】他の実施例に係る棒状補強弾性体の断面図である。

【符号の説明】

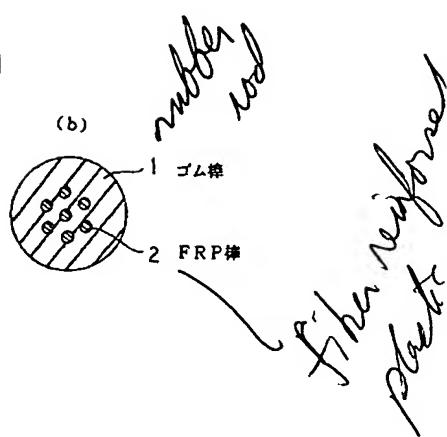
1 ゴム棒

2 F R P 棒

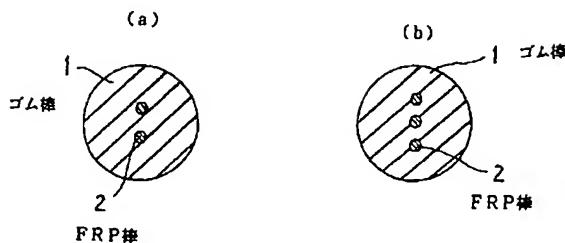
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 5

E 04 H 12/32

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

9128-2E

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Industrial Application] It is related with the cylindrical reinforcement elastic body used for the IKESU frame demanded, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. that the rigidity of this invention over bending deformation is large, and the tolerance limit of bending is large.

[0002]

[Description of the Prior Art] Before, since it was required that the rigidity over bending deformation should be large, and the tolerance limit bent so that it can respond by deformation to a destructive operation should be large, a bamboo, wood, plastics, fiber reinforced plastics (henceforth FRP (Fiber Reinforced Plastics)), etc. were used for the pole for an IKESU frame, a pier, a flag, or carp streamers.

[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] The trouble of the above-mentioned existing member is shown below.

(1) Since the quality of the material changed with places of production, or the quality of the materials differed delicately separately even if a place of production is the same, a bamboo and a wood bamboo, and wood were difficult to arrange the thing of the same quality of the material. Moreover, since there are little the bamboo and wood 10m or more of length, they receive a limit in length. Although the rigidity as the whole increases since there is a knot while the use range is limited since a size is different at a root and the tip especially in the case of a bamboo, the rigidity in the part of a knot and the part of a cylinder differs, and it is not uniform. Therefore, a blemish will be grown and divided into shaft orientations if a blemish is made to one place. Furthermore, a bamboo and wood will be corroded if it is used for a long period of time by underwater or the soil middle class.

(2) in order to enlarge flexural rigidity in plastics, FRP plastics, and FRP, expensive reinforcement fiber is used -- if it kicks, it will not become. Or in order to enlarge a cross-section second moment, the thing of a thick path must be used. Although flexural rigidity will become large if the thing of a thick path is used, about [that a bending tolerance limit becomes small] and a price also becomes high. Although there is also a thing of a pipe configuration in plastics and FRP, the thing of a pipe configuration has the problem of the buckling at the time of bending deformation. Furthermore, a problem may be produced in weatherability.

[0004] Moreover, about plastics and FRP, if the plastics of the shape of two or more rod and FRP are unified and compound-ized by adhesion, it is known that the flexural rigidity more than the number will be acquired. For example, a cross-section second moment stops easily being able to deform only by increasing 3 times only by having not unified but bundling three plastics and FRP for the flexural rigidity 3 times. That is, it is 3 times stronger and there is no merit used for the IKESU frame which needs a certain amount of deformation, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. only by becoming one 3 times the flexural rigidity of this. On the other hand, if a base material (matrix) is made placed between three plastics and FRP, three plastics and FRP are unified by adhesion as mentioned above and it is made to deform as one The cross-section second moment will be one plastics and 11 times the

cross-section second moment in the case of FRP, and the effect of compound-izing of $11/3=3.67$ time and unification is acquired with flexural rigidity compared with the time only of having only only bundled three.

[0005] However, in the above-mentioned example, the bending tolerance limit will become remarkably small compared with the case where the plastics of a thick path and one FRP are used big [the cross section]. Moreover, the breaking strength beyond the bonding strength of plastics, FRP, and a matrix, the EQC of a matrix, or it is required of this example. In view of the above, this invention acquires flexural rigidity equivalent to the large FRP rod of a path greatly [a cross-section second moment], and aims at offer of the cylindrical reinforcement elastic body with which the tolerance limit over bending moreover also becomes large rather than the large FRP rod of a path.

[0006]

[Means for Solving the Problem] A technical-problem solution means by this invention lays underground a core material which consists of fiber reinforced plastics of the shape of two or more rod in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into rubber of the shape of a rod which is a base material.

[0007]

[Function] In the above-mentioned technical-problem solution means, since the core material which consists of rod-like fiber reinforced plastics is laid underground in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into the rubber of the shape of a rod which is a base material, the effect of compound-izing of the rubber rod and the fiber-reinforced-plastics rod that flexural rigidity becomes strong is acquired. Moreover, in addition to the merit of compound-izing of a rubber rod and a fiber-reinforced-plastics rod, flexural rigidity equivalent to the large ***** plastic bar of a path is acquired, and the tolerance limit over bending also becomes large rather than the large ***** plastic bar of a path greatly [a cross-section second moment].

[0008]

[Example] Hereafter, one example of this invention is explained based on drawing 1. Drawing 1 is the cross section of the cylindrical reinforcement elastic body concerning one example of this invention. In the rubber rod 1 which is a base material (matrix), the cylindrical reinforcement elastic body of this example lays underground the core material (core) which consists of four fiber-reinforced-plastics (henceforth FRP (Fiber Reinforced Plastics)) rods 2 which performed adhesion processing in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, and unifies the rubber rod 1 and the FRP rod 2.

[0009] what has large bonding strength with the FRP rod 2 uses the above-mentioned rubber rod 1 greatly [permission deformation] so that it can oppose by deformation to destruction -- having -- **** - - the path -- phi30mm and flexural rigidity -- 27000kgmm(s)2 it is . the above-mentioned FRP rod 2 -- for example, the drawing mold goods of unsaturated polyester/glass fiber -- it is -- the path -- phi3mm and flexural rigidity -- 17000kgmm(s)2 it is .

[0010] And these people did comparison examination of the flexural rigidity of the above-mentioned example and the case (henceforth the example of a comparison) where it inserts in the state of rubber and un-pasting up up four FRP rods. Consequently, the flexural rigidity of the example of a comparison is 95000kgmm(s)2. It did not pass to become and become the value which only added the flexural rigidity (17000kgmm 2x4) of FRP rod 4 duty, and the flexural rigidity for rubber (27000kgmm2), but it became clear that there was no dynamic merit in any way. On the other hand, the flexural rigidity of an example is 413000kgmm(s)2. It becomes. This value is about 4.3 times (413000kgmm2 / 95000kgmm2) the example of a comparison, and it became clear that the effect of compound-izing showed up.

[0011] Next, the comparison with the flexural rigidity of an example, and phi7mm and the flexural rigidity of one large FRP rod of a path with a large namely, cross-section second moment was performed. consequently, the flexural rigidity of one phi7mm FRP rod -- 385000kgmm(s)2 it is -- when making it the configuration of an example, it also became clear that the flexural rigidity of a phi7mm FRP rod and the flexural rigidity more than equivalent can be acquired.

[0012] Furthermore, if the minimum bending radius which bending failure with an above-mentioned

example and one FRP rod of phi7mm produces here is considered It is $r = 77\text{mm}$ in minimum bending radius of the ** phi3mm FRP rod used in the example to the minimum bending radius of $r = 204\text{mm}$ of a phi7mm FRP rod. Even if the example which unified [the phi3mm FRP rod] rubber as a base material for four becomes bend radii of $r = 204\text{mm}$ at least, it is imagined to be destruction (for it not to break). That is, as for an example, the tolerance limit over bending becomes large rather than a phi7mm FRP rod.

[0013] That is, since the cylindrical reinforcement elastic body of this example is laying underground the FRP rod 2 which performed adhesion processing which is a core in the condition pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into the rubber rod 1 which is a matrix, the effect of compoundizing of the rubber rod 1 and the FRP rod 2 that flexural rigidity becomes strong compared with the case of having only bundled four FRP rods is acquired. Moreover, in addition to the merit of this compoundizing, flexural rigidity equivalent to the large FRP rod of a path can be acquired, and a cross-section second moment can also make the tolerance limit over bending greatly larger than the large FRP rod of a path. Therefore, it becomes the best for use of the IKESU frame demanded, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. that this cylindrical reinforcement elastic body has the large rigidity over bending deformation, and the tolerance limit of bending is large.

[0014] In addition, as for this invention, it is needless to say that it is not limited to the above-mentioned example and many corrections and modification can be added to the above-mentioned example in the range of this invention. For example, what is necessary is just to arrange 3 or seven FRP rods in the location of symmetry to the direction of a cross section, as shown in drawing 2 (a) and (b) when isotropy is required as a cylindrical reinforcement elastic body although the above-mentioned example indicated the example which used four FRP rods. Moreover, if two FRP rods are used and it will arrange in the form where rigidity differed by the ability to rank [whether two FRP rods are arranged in a lengthwise direction in drawing 3 (a), or] with a longitudinal direction, or three FRP rods were arranged in the single tier like drawing 3 (b) when an anisotropy is required as a cylindrical reinforcement elastic body, the effect will show up more notably. Thus, only by changing the number of an FRP rod, and an array, the free layout according to the tolerance limit of the flexural rigidity demanded and bending is attained, and length and a size can also be designed freely.

[0015] Moreover, if material selection of the rubber to be used and a rubber portion are reinforced with reinforcement fiber, the thing excellent in endurance ability, such as corrosion resistance, weatherability, and a water resisting property, can also be designed.

[0016]

[Effect of the Invention] According to the cylindrical reinforcement elastic body of this invention a passage clear from the above explanation, the effect of compound-izing of the rubber rod and the fiber-reinforced-plastics rod that flexural rigidity becomes strong is acquired. Moreover, in addition to the merit of compound-izing of a rubber rod and a fiber-reinforced-plastics rod, flexural rigidity equivalent to the large fiber-reinforced-plastics rod of a path can be acquired, and a cross-section second moment can also make the tolerance limit over bending greatly larger than the large fiber-reinforced-plastics rod of a path. Therefore, there is an outstanding effect that it becomes the best for use of the IKESU frame demanded, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. that the rigidity over bending deformation is large, and the tolerance limit of bending is large.

[0017] Moreover, only by changing the number of a fiber-reinforced-plastics rod, and an array, the free layout according to whenever [flexural rigidity / which is demanded / and bending's permissible deformation] is attained, and length and a size can also be designed freely, and if material selection of the rubber to be used and a rubber portion are reinforced with reinforcement fiber, the thing excellent in endurance ability, such as corrosion resistance, weatherability, and a water resisting property, can also be designed.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

TECHNICAL FIELD

[Industrial Application] It is related with the cylindrical reinforcement elastic body used for the IKESU frame demanded, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. that the rigidity of this invention over bending deformation is large, and the tolerance limit of bending is large.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

PRIOR ART

[Description of the Prior Art] Before, since it was required that the rigidity over bending deformation should be large, and the tolerance limit bent so that it can respond by deformation to a destructive operation should be large, a bamboo, wood, plastics, fiber reinforced plastics (henceforth FRP (Fiber Reinforced Plastics)), etc. were used for the pole for an IKESU frame, a pier, a flag, or carp streamers.

[Translation done.]

*** NOTICES ***

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

EFFECT OF THE INVENTION

[Effect of the Invention] According to the cylindrical reinforcement elastic body of this invention a passage clear from the above explanation, the effect of compound-izing of the rubber rod and the fiber-reinforced-plastics rod that flexural rigidity becomes strong is acquired. Moreover, in addition to the merit of compound-izing of a rubber rod and a fiber-reinforced-plastics rod, flexural rigidity equivalent to the large fiber-reinforced-plastics rod of a path can be acquired, and a cross-section second moment can also make the tolerance limit over bending greatly larger than the large fiber-reinforced-plastics rod of a path. Therefore, there is an outstanding effect that it becomes the best for use of the IKESU frame demanded, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. that the rigidity over bending deformation is large, and the tolerance limit of bending is large.

[0017] Moreover, only by changing the number of a fiber-reinforced-plastics rod, and an array, the free layout according to whenever [flexural rigidity / which is demanded / and bending's permissible deformation] is attained, and length and a size can also be designed freely, and if material selection of the rubber to be used and a rubber portion are reinforced with reinforcement fiber, the thing excellent in endurance ability, such as corrosion resistance, weatherability, and a water resisting property, can also be designed.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

TECHNICAL PROBLEM

[Problem(s) to be Solved by the Invention] The trouble of the above-mentioned existing member is shown below.

(1) Since the quality of the material changed with places of production, or the quality of the materials differed delicately separately even if a place of production is the same, a bamboo and a wood bamboo, and wood were difficult to arrange the thing of the same quality of the material. Moreover, since there are little the bamboo and wood 10m or more of length, they receive a limit in length. Although the rigidity as the whole increases since there is a knot while the use range is limited since a size is different at a root and the tip especially in the case of a bamboo, the rigidity in the part of a knot and the part of a cylinder differs, and it is not uniform. Therefore, a blemish will be grown and divided into shaft orientations if a blemish is made to one place. Furthermore, a bamboo and wood will be corroded if it is used for a long period of time by underwater or the soil middle class.

(2) in order to enlarge flexural rigidity in plastics, FRP plastics, and FRP, expensive reinforcement fiber is used -- if it kicks, it will not become. Or in order to enlarge a cross-section second moment, the thing of a thick path must be used. Although flexural rigidity will become large if the thing of a thick path is used, about [that a bending tolerance limit becomes small] and a price also becomes high. Although there is also a thing of a pipe configuration in plastics and FRP, the thing of a pipe configuration has the problem of the buckling at the time of bending deformation. Furthermore, a problem may be produced in weatherability.

[0004] Moreover, about plastics and FRP, if the plastics of the shape of two or more rod and FRP are unified and compound-ized by adhesion, it is known that the flexural rigidity more than the number will be acquired. For example, a cross-section second moment stops easily being able to deform only by increasing 3 times only by having not unified but bundling three plastics and FRP for the flexural rigidity 3 times. That is, it is 3 times stronger and there is no merit used for the IKESU frame which needs a certain amount of deformation, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. only by becoming one 3 times the flexural rigidity of this. On the other hand, if a base material (matrix) is made placed between three plastics and FRP, three plastics and FRP are unified by adhesion as mentioned above and it is made to deform as one The cross-section second moment will be one plastics and 11 times the cross-section second moment in the case of FRP, and the effect of compound-izing of $11/3=3.67$ time and unification is acquired with flexural rigidity compared with the time only of having only only bundled three.

[0005] However, in the above-mentioned example, the bending tolerance limit will become remarkably small compared with the case where the plastics of a thick path and one FRP are used big [the cross section]. Moreover, the breaking strength beyond the bonding strength of plastics, FRP, and a matrix, the EQC of a matrix, or it is required of this example. In view of the above, this invention acquires flexural rigidity equivalent to the large FRP rod of a path greatly [a cross-section second moment], and aims at offer of the cylindrical reinforcement elastic body with which the tolerance limit over bending moreover also becomes large rather than the large FRP rod of a path.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

MEANS

[Means for Solving the Problem] A technical-problem solution means by this invention lays underground a core material which consists of fiber reinforced plastics of the shape of two or more rod in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into rubber of the shape of a rod which is a base material.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

OPERATION

[Function] In the above-mentioned technical-problem solution means, since the core material which consists of rod-like fiber reinforced plastics is laid underground in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into the rubber of the shape of a rod which is a base material, the effect of compound-izing of the rubber rod and the fiber-reinforced-plastics rod that flexural rigidity becomes strong is acquired. Moreover, in addition to the merit of compound-izing of a rubber rod and a fiber-reinforced-plastics rod, flexural rigidity equivalent to the large ***** plastic bar of a path is acquired, and the tolerance limit over bending also becomes large rather than the large ***** plastic bar of a path greatly [a cross-section second moment].

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

EXAMPLE

[Example] Hereafter, one example of this invention is explained based on drawing 1. Drawing 1 is the cross section of the cylindrical reinforcement elastic body concerning one example of this invention. In the rubber rod 1 which is a base material (matrix), the cylindrical reinforcement elastic body of this example lays underground the core material (core) which consists of four fiber-reinforced-plastics (henceforth FRP (Fiber Reinforced Plastics)) rods 2 which performed adhesion processing in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, and unifies the rubber rod 1 and the FRP rod 2.

[0009] what has large bonding strength with the FRP rod 2 uses the above-mentioned rubber rod 1 greatly [permission deformation] so that it can oppose by deformation to destruction -- having -- **** - - the path -- phi30mm and flexural rigidity -- 27000kgmm(s)2 it is . the above-mentioned FRP rod 2 -- for example, the drawing mold goods of unsaturated polyester/glass fiber -- it is -- the path -- phi3mm and flexural rigidity -- 17000kgmm(s)2 it is .

[0010] And these people did comparison examination of the flexural rigidity of the above-mentioned example and the case (henceforth the example of a comparison) where it inserts in the state of rubber and un-pasting up up four FRP rods. Consequently, the flexural rigidity of the example of a comparison is 95000kgmm(s)2. It did not pass to become and become the value which only added the flexural rigidity (17000kgmm 2x4) of FRP rod 4 duty, and the flexural rigidity for rubber (27000kgmm2), but it became clear that there was no dynamic merit in any way. On the other hand, the flexural rigidity of an example is 413000kgmm(s)2. It becomes. This value is about 4.3 times (413000kgmm2 / 95000kgmm2) the example of a comparison, and it became clear that the effect of compound-izing showed up.

[0011] Next, the comparison with the flexural rigidity of an example, and phi7mm and the flexural rigidity of one large FRP rod of a path with a large namely, cross-section second moment was performed. consequently, the flexural rigidity of one phi7mm FRP rod -- 385000kgmm(s)2 it is -- when making it the configuration of an example, it also became clear that the flexural rigidity of a phi7mm FRP rod and the flexural rigidity more than equivalent can be acquired.

[0012] Furthermore, if the minimum bending radius which bending failure with an above-mentioned example and one FRP rod of phi7mm produces here is considered It is $r = 77\text{mm}$ in minimum bending radius of the ** phi3mm FRP rod used in the example to the minimum bending radius of $r = 204\text{mm}$ of a phi7mm FRP rod. Even if the example which unified [the phi3mm FRP rod] rubber as a base material for four becomes bend radii of $r = 204\text{mm}$ at least, it is imagined to be destruction (for it not to break). That is, as for an example, the tolerance limit over bending becomes large rather than a phi7mm FRP rod.

[0013] That is, since the cylindrical reinforcement elastic body of this example is laying underground the FRP rod 2 which performed adhesion processing which is a core in the condition pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into the rubber rod 1 which is a matrix, the effect of compound-izing of the rubber rod 1 and the FRP rod 2 that flexural rigidity becomes strong compared with the case of having only bundled four FRP rods is acquired. Moreover, in addition to the merit of this compound-izing, flexural rigidity equivalent to the large FRP rod of a path can be acquired, and a cross-section

second moment can also make the tolerance limit over bending greatly larger than the large FRP rod of a path. Therefore, it becomes the best for use of the IKESU frame demanded, a pier, a flag, the pole for carp streamers, etc. that this cylindrical reinforcement elastic body has the large rigidity over bending deformation, and the tolerance limit of bending is large.

[0014] In addition, as for this invention, it is needless to say that it is not limited to the above-mentioned example and many corrections and modification can be added to the above-mentioned example in the range of this invention. For example, what is necessary is just to arrange 3 or seven FRP rods in the location of symmetry to the direction of a cross section, as shown in drawing 2 (a) and (b) when isotropy is required as a cylindrical reinforcement elastic body although the above-mentioned example indicated the example which used four FRP rods. Moreover, if two FRP rods are used and it will arrange in the form where rigidity differed by the ability to rank [whether two FRP rods are arranged in a lengthwise direction in drawing 3 (a), or] with a longitudinal direction, or three FRP rods were arranged in the single tier like drawing 3 (b) when an anisotropy is required as a cylindrical reinforcement elastic body, the effect will show up more notably. Thus, only by changing the number of an FRP rod, and an array, the free layout according to the tolerance limit of the flexural rigidity demanded and bending is attained, and length and a size can also be designed freely.

[0015] Moreover, if material selection of the rubber to be used and a rubber portion are reinforced with reinforcement fiber, the thing excellent in endurance ability, such as corrosion resistance, weatherability, and a water resisting property, can also be designed.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] It is the cross section of the cylindrical reinforcement elastic body concerning one example of this invention.

[Drawing 2] It is the cross section of the cylindrical reinforcement elastic body concerning other examples.

[Drawing 3] It is the cross section of the cylindrical reinforcement elastic body concerning other examples.

[Description of Notations]

1 Rubber Rod

2 FRP Rod

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.**** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

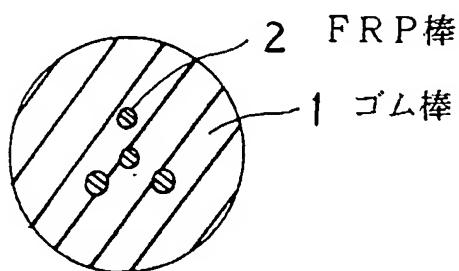
CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] A cylindrical reinforcement elastic body characterized by laying underground a core material which consists of fiber reinforced plastics of the shape of two or more rod in the condition of having pasted up mutually in accordance with shaft orientations, into rubber of the shape of a rod which is a base material.

[Translation done.]

Drawing selection [Representative drawing



[Translation done.]